Dimplex®

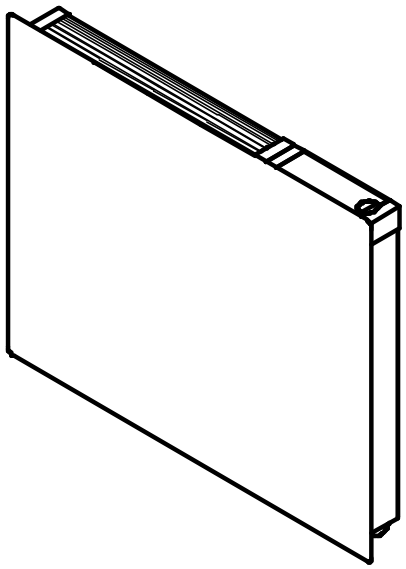
電気パネルヒーター

ジローナ　ガラスパネルヒーター

取扱説明書（保証書付）

GFP080WJ

GFP100WJ



●この度は、ジローナ ガラスパネルヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

●この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

●この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意……2
各部名称……4
操作説明……5
寸法図……7
取扱上のご注意……8
お手入れ……9
仕様一覧……10
故障かな？と思ったら……11
保証とアフターサービス……12
保証書……15
お客様ご相談窓口のご案内……16

安全上のご注意

● 表示内容を無視したときに生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

禁止図記号　・・・・製品の取扱において、その行為を禁止する図記号。

指示図記号　・・・・製品の取扱において、指示に基づく行為を強制する図記号。

※『注意』の欄記載内容においても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

【 取扱に関して 】～必ずお守りください～

⚠ 警告

本体に物をかぶせたりしないこと。
本体が異常過熱をおこし、火災のおそれがあります。

グリルを手で触らないこと。
やけどのおそれがあります。

本体と壁との間に物を入れたり、本体に物を接触して置かないこと。
火災のおそれがあります。

本体に水をかけたりしないこと。
絶縁劣化による漏電・感電・火災のおそれがあります。

修理技術者以外の人は分解、改造、修理をしないこと。
感電・火災・ケガのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたりしないこと。
電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源コードに重いものをのせたり、束ねたりしないこと。
火災のおそれがあります。

長時間にわたってヒーター直前に居ないこと。
熱中症や低温やけどのおそれがあります。幼児や泥酔された方等には特に注意してください。

スプレー等の缶を本体の近くに置かないこと。
爆発・火災のおそれがあります。

ペットの暖房として使用しないこと。
ペットが本体や電源コード等を傷め、故障・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

暖房器以外の目的で使用しないこと。
感電・火災・やけどのおそれがあります。

運転中や運転直後は操作部以外に触らないこと。
やけどのおそれがあります。

電源コード等を無理に引っ張らないこと。
感電・火災のおそれがあります。

本体表面の掃除は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

本体に乗ったり、傾けたりしないこと。
故障・落下のおそれがあります。

本体の隙間から、指や異物を差し込まないこと。
やけど・感電・故障のおそれがあります。

乳幼児や室温調整ができない方は、付き添いなしでは使用しないこと。
やけどのおそれがあります。

本体の据付・配線は、施工業者及び有資格の電気工事業者が行うこと。
感電・ケガのおそれがあります。

異常が感じられるときは、ブレーカーを「切」にすること。
故障・火災のおそれがあります。

本体表面の掃除は、必ず運転を停止し、本体が冷めてから行うこと。
やけどのおそれがあります。

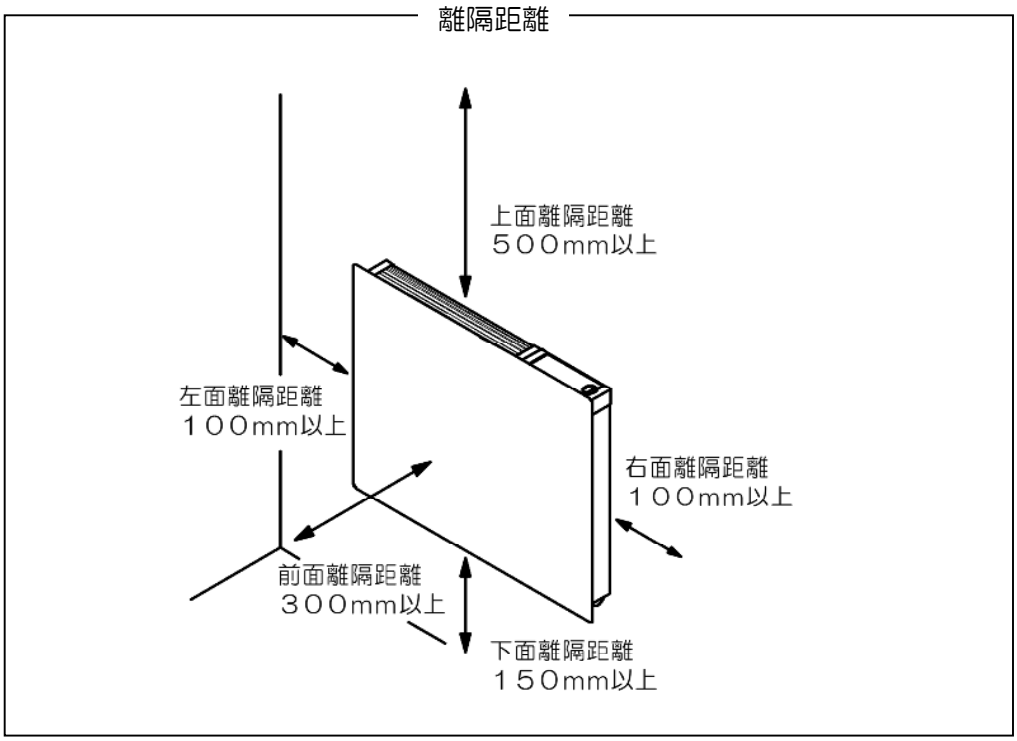
本体内部の掃除は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガをするおそれがあります。

電源コードが破損した場合は、コード交換は危険を防止するために製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者に依頼すること。
感電・ケガをするおそれがあります。

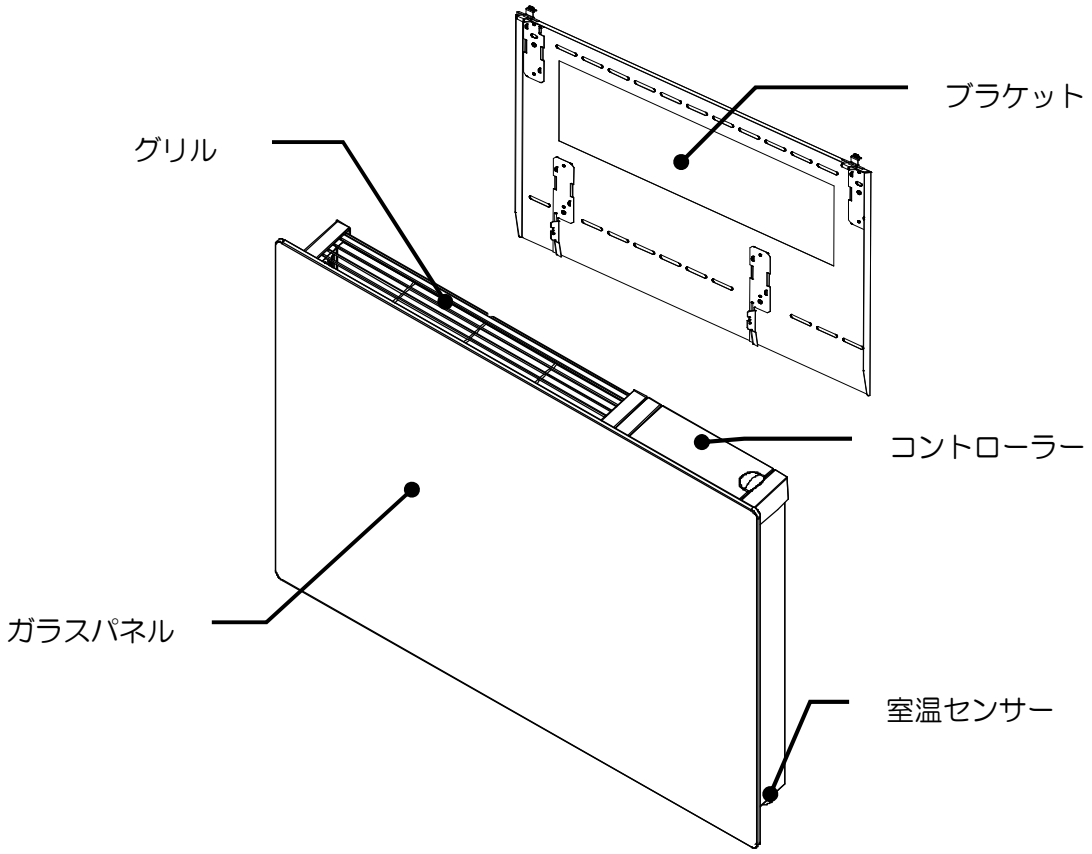
長期間ご使用にならないときは、必ずブレーカーを「切」にすること。
ブレーカーを「切」にしないと、１台につき待機時消費電力約 16W を消費します。

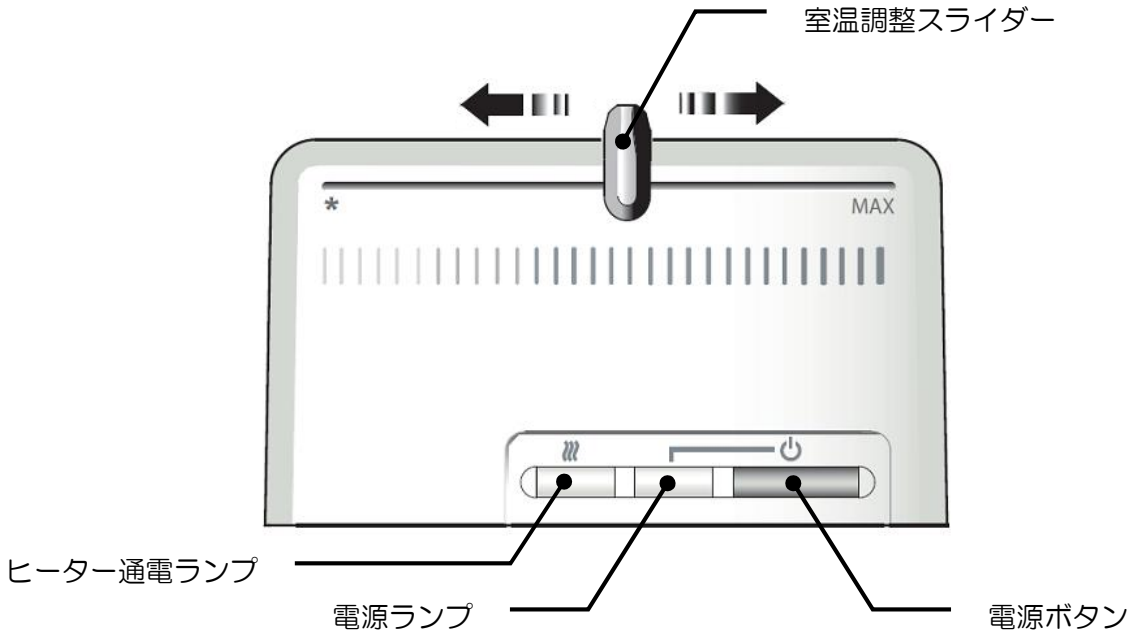
⚠ 離隔距離に関しての注意

カーテン等の可燃物に対して以下の離隔距離を確保すること。
機器の誤作動、故障の原因となります。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材等が変色・変形しないことを保障するものではありません。



各部名称





コントローラー部

操作説明

●電源ボタン

暖房運転の入／切を行います。

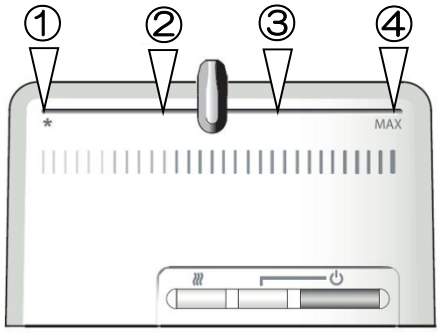
●電源ランプ

電源が「入」の際に点灯します。

●室温調整スライダー

スライダーの動く範囲内で、約 5～３０℃の室温調整を行います。
室温が設定温度に近づくように、ヒーター通電が入/切を繰り返します。
（設置状況や周囲環境により変動することがあります。）

※スライダー位置と室温の目安



室温調整スライダー位置	①	②	③	④
室温目安（℃）	5	15	20	30

●ヒーター通電ランプ

ヒーター通電中に点灯します。

⚠ 注意

暖房器以外の目的で使用しないこと。
①布団や毛布等を本体に掛けたり、濡れたもの（洗濯物等）の乾燥に利用しないでください。
②本体の上にのぼったり、物をのせたりしないでください。

高温注意
①本体は高温になりますので、ヒーター通電中や通電直後は操作部以外直接触らないでください。
また、幼児等が触れることのないように注意してください。
②長時間に渡ってヒーターの直前に居ますと、熱中症や低温やけどのおそれがあります。
幼児や泥酔された方等には特に注意してください
③本体の隙間等に、指や異物を入れないでください。

長期間お使いにならないときは、
①電源ボタンを「切」にし、電源ランプが消灯していることを確認してください。
②室温調整スライダーを「左端」に設定してください。
③ブレーカーを「切」にしてください。
ブレーカーを「切」にしないと、１台につき待機時消費電力約 16W を消費します。
強いノイズを発生するものがありますと、機器が誤作動することがありますので、長期間
お使いにならないときはブレーカーを必ず「切」にしてください。

操作説明

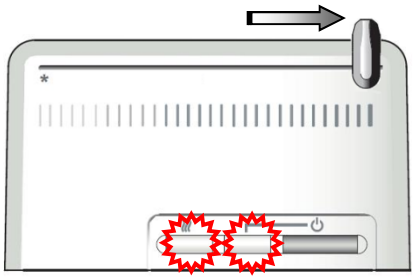
【通常運転】

1）ジローナ用２００Ｖブレーカーを「入」にします。

2）電源ボタンを押し、電源ランプが点灯することを確認します。

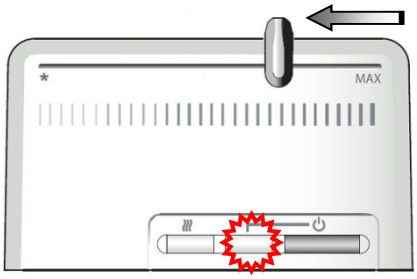
※電源ボタンは約１秒間長押しして下さい。

3）室温調整スライダーを、「右端」に合わせます。（ヒーター通電ランプが点灯します。）
室温が快適になるまで、しばらくそのまま運転を行ってください。

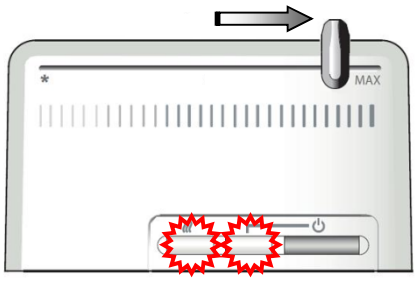


※お部屋が快適な温度になるまで時間がかかります。
※お部屋の窓やドアを閉めて、室内の熱を逃がさないようにしてください。
※室温センサーの雰囲気温度が３０℃より高い場合は、室温調節スライダーを「右端」に設定しても、サーモスタットが働くためヒーター通電ランプは点灯しません。

4）お部屋が快適な温度になったら、室温調整スライダーをヒーター通電ランプが消えるところまで左方向へゆっくりと移動してください。



5）次にヒーター通電ランプが点灯するところまで、室温調整スライダーをゆっくりと右方向に移動してください。

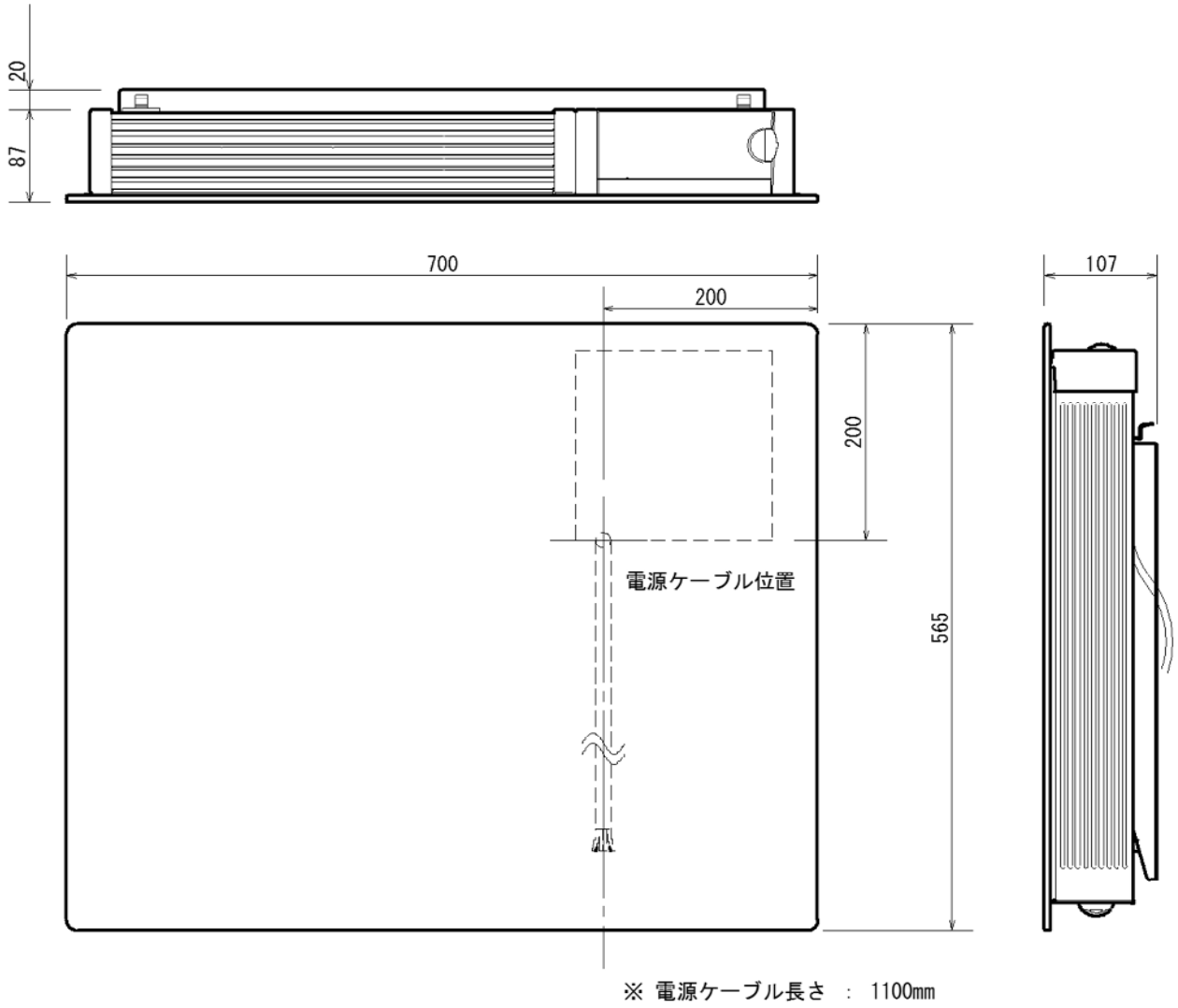


ヒーター通電ランプが点灯した位置が快適温度です。
以上で、お部屋の快適温度が設定され、その後は自動的にヒーターへの通電をＯＮ／ＯＦＦ繰り返しながら、適温を保ちます。さらに温度調整が必要であれば、室温調整スライダーを微調整してください。

※初回使用時や、長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出ることがあります。また初回使用時のみ数分ほどヒーターエレメントの錆止め用オイルが蒸発するのが見える場合があります。
このような時は十分に換気を行ってください。

寸法図

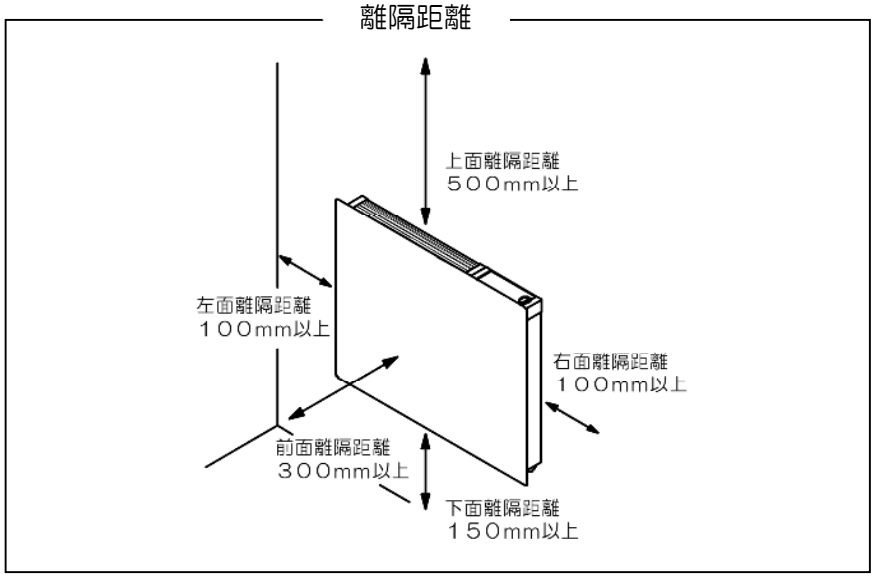
GFP080WJ
GFP100WJ



取扱上のご注意

● 離隔距離に関して

カーテン、家具等に対して下記の離隔距離を取ってください。
特に、本体前面、本体上面、本体下面を塞ぐと機器（過熱防止装置、室温センサー等）の誤動作、故障の原因となります。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材等が変色・変形しないことを保障するものではありません。



● 設置場所に関して

・テーブルや机のすぐ下への設置は、お止めください。
・水のかかりやすい場所、湿気の多い場所でのご使用はお止めください。
・付近に燃えやすいもの、引火性の高いものを置かないでください。
※初回使用時や長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。また、初回使用時のみ数分ほどヒーターエレメントの錆止め用オイルが蒸発するのが見える場合があります。
このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。
※運転時に音が発生する場合がありますが、ビスとパネル、ヒーター等金属間の熱膨張率が異なるために発生する音で、異常ではありません。

⚠ 注意

電源コード等を無理に引っ張らないこと。
感電・火災のおそれがあります。

本体に乗ったり、傾けたりしないこと。
故障・落下のおそれがあります。

乳幼児や室温調整ができない方は、付き添いなしでは使用しないこと。
やけどのおそれがあります。

お手入れ

⚠ 警告

本体に水をかけない
漏電、感電、火災のおそれがあります。

⚠ 注意

本体表面の清掃は、必ず２００Ｖ電源ブレーカーを「切」にし、本体表面を冷ます
感電、やけどのおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しない
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼する
感電、ケガのおそれがあります。

お手入れ

暖房器を末永くお使い頂く為にも、お手入れを行ってください。

【本体表面】
通常は乾いた柔らかい布で拭取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭取ってください。

※タバコの煙（ヤニ）により、本体が変色する場合があります。

【グリル・暖房器底部・周辺の隙間・壁面】
時々掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。

※自然対流により発生する上昇気流の影響で、壁面にほこり等が付着する場合があります。その場合は汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

長期間お使いにならないとき

シーズンオフ等、長期間お使いにならないときは、
①電源ボタンを「切」にし、電源ランプが消灯していることを確認してください。
②室温調整スライダーを「左端」にしてください。
③ブレーカーを「切」にしてください。
※ブレーカーを「切」にしないと、１台につき待機時消費電力約 16W を消費します。
※強いノイズを発生するものがありますと、機器が誤作動することがありますので、長期間お使いにならないときはブレーカーを必ず「切」にしてください。

仕様一覧

GFP シリーズ

型　番	GFP080WJ	GFP100WJ
定格電圧	単相AC200V（50/60 Hz）	
定格消費電力	750W	1000W
質量	16.5kg	
ヒーターエレメント	750W×1	1000W×1
外形寸法mm （幅×高さ×奥行）	700×565×107	
電源コードサイズ	1.25mm^2×3C （長さ：1100mm）	
200V配線用遮断器の 定格電流	15A	
200V屋内配線の 最小電線太さ（銅線）	直径1.6mm（2mm^2）	
安全装置	過熱防止装置（自動復帰型・手動復帰型の２段階）	

⚠ 注意

電源コードは白線と黒線が電源線となります。緑／黄の線がアース線となっております。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

症状	調べる所	対処方法
暖房器が暖まらない。	200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。	200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。
	電源ボタンが「切」になっていませんか。	電源ボタンを「入」に設定してください。
	室温調整スライダーの設定が低くなっていませんか。	室温調整スライダーの設定を高くしてください。
	北海道電力及び北陸電力管内のお客様 電気供給契約メニューをご確認ください。 ※融雪用電力を利用した契約メニューの場合、毎日決められた時間帯に電源が強制的に遮断されるため、機能表示ランプ及びヒーター通電ランプが消灯し、暖房器が暖まらなくなります。 （例：ホットタイム契約又はホワイトプラン電力契約） 詳しくは、ご契約の電力会社にお問い合せください。	
お部屋が暖まらない。	上記”暖房器が暖まらない”をまずご確認ください。	
	ドアや窓が開いていませんか。	ドアや窓を閉めてください。
	本体の近くのソファ、棚、カーテン等が、熱の対流を妨げていませんか。	本体近くの障害物を移動し、離隔距離を確保してください。
においが出る。	初回使用時や長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。 このようなときは、お部屋を十分に換気した上でご使用ください。	
本体から音が鳴る。	ビスとパネル、ヒーター等金属間の熱膨張率が異なるため、運転時に音が発生する場合がありますが異常ではありません。	

また、上記に該当せず、使用中に異常が感じられる場合は、直ちに電源ボタンを「切」、ジローナ用２００Ｖブレーカーを「切」にし、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（添付）

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源ブレーカーを「切」にし、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ジローナ ガラスパネルヒーター　＜電気パネルヒーター＞
型番	GFP080WJ / GFP100WJ
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
お客様	お名前、ご住所、電話番号
修理希望日	年　　月　　日

メモ

メモ

保 証 書

品　名	ジローナ ガラスパネルヒーター　<電気[illegible]ルヒーター>
型　番	GFP080W / GFP100W
お　客　様	お名前 様 ご住所　（〒　　） 電話番号　（　　）　　ー
お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	**お買い上げ日から本体１年間**
販売店	販売店名 住所 電話番号　（　　）　　ー

SAMPLE

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記＜無料修理規定＞に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記＜無料修理規定＞をご参照ください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。

（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。

（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。

3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、販売元へご連絡ください。

4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

（ロ）施工説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生ずる故障及び損傷

（ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷

（ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷

（ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

（ヘ）本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

（ト）離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費

5．本書は日本国内においてのみ有効です。

6．本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7．販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店又は販売元にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年です。

※This warranty is valid only in Japan.

輸入元　株式会社ディンプレックス・ジャパン
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目 2 番 23 号
TEL：011-783-7989　FAX：011-783-7747

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店
または下記窓口へお申し付けください。

取扱元：パナソニック ホームエンジニアリング株式会社

本社・アライアンス営業部
〒540-6216 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番61号 OBPパナソニックタワー16階 TEL：06-6942-0953　FAX：06-6942-1040

[北日本支店]

北海道営業部
〒060-0809 北海道札幌市北区北９条西２丁目１番地パナソニック札幌北９条ビル　TEL：011-736-2241　FAX：011-736-2244

東北営業部
〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町３丁目６番地３号　TEL：022-239-5437　FAX：022-239-5438

[首都圏・関東支店]

システム営業部　開発営業所
〒136-0076 東京都江東区南砂２丁目36番10号 光陽ビル２階　TEL：03-5634-8562　FAX：03-5634-8462

[近畿・中部支店]

近畿営業部
〒540-6216 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番61号 OBPパナソニックタワー16階　TEL：06-6947-8851　FAX：06-6947-8873

中部営業部
〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町３１番地２６号　TEL: 052-979-5615　FAX: 052-933-4471

[西日本支店]

九州営業部
〒810-8530 福岡県福岡市中央区薬院３丁目１番24号　TEL：092-523-9744　FAX：092-523-9717

中四国営業部
〒730-0051 広島県広島市中区大手町３丁目１３番18号松村ビル１階　TEL：082-504-4509　FAX：082-504-4383

輸入元：株式会社ディンプレックス・ジャパン

本社・技術相談窓口
〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目２番23号　TEL：011-783-7989　FAX：011-783-7747

北海道営業所
〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目２番23号　TEL：011-783-7106　FAX：011-783-7108

東北営業所
〒989-2422 宮城県岩沼市空港南２丁目２番２号　TEL：0223-25-5804　FAX：0223-25-5805

北陸営業所
〒939-8094 富山県富山市大泉本町１丁目４番14号　パレット大泉１階　TEL：076-420-7617　FAX：076-420-7618

東京本社営業所
〒108-0073 東京都港区三田１丁目４番28号　三田国際ビル13階　TEL：03-6453-7242　FAX：03-5427-2330

西日本営業所
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町１番31号 由武ビル８階　TEL：06-6193-5365　FAX：06-6193-5366

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック ホームエンジニアリング（株）および （株)ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

①上記２社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を上記２社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、上記２社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。
②上記２社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

MA100019K　15/02/17